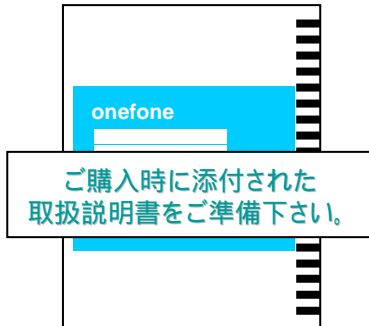


< 基本操作編 >

基本的な操作方法については、NTTドコモ社製「onefone™」(以下、「onefone」という)をご購入時に添付されている取扱説明書 P423 ~ をよくお読みのうえご利用願います。



「onefone」を利用して困った場合は取扱説明書479ページ以降をご確認下さい。



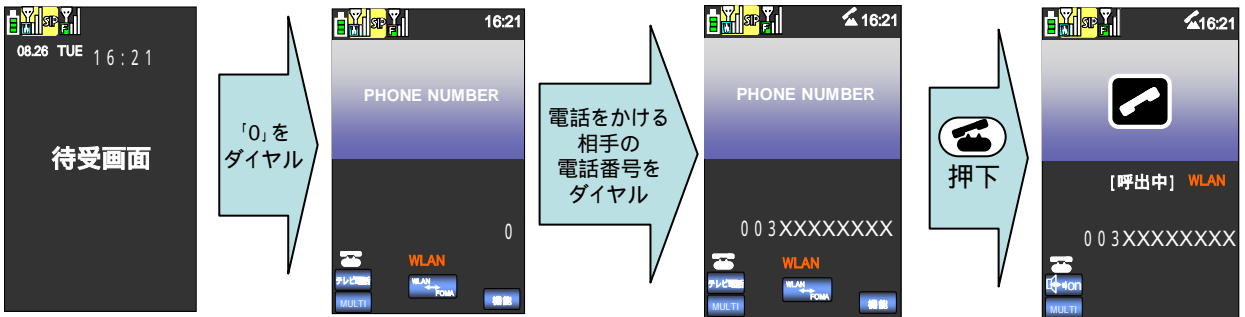
外線への発信方法

< 外線発信 >

本システムから外線発信できます。

1. 「onefone」本体の数字ボタンで外線捕捉用特番(初期値:0)を最初にダイヤルする。
2. 1.の操作に続いて電話をかける相手の電話番号をダイヤルし、を押す。

電話をかける相手の呼び出しを開始いたします。



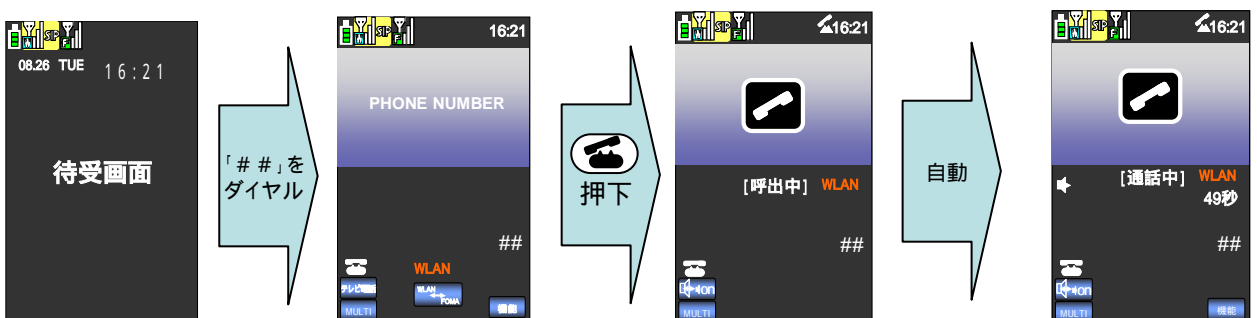
上記は、外線特番自動付与機能を利用しない場合です。
「onefone」の外線特番自動付与機能をご利用する場合、1.の操作は不要となります。
上記は、外線捕捉用特番が「0」のときに外線発信を行う例です。

他の内線電話機にかかってきた着信に応答する

< 代理応答 >

他の内線電話機にかかってきた着信に応答することができます。

1. 「onefone」本体の数字ボタンで代理応答用特番(初期値:##)をダイヤルし、を押す。



上記は、代理応答用特番が「##」のときに代理応答を行う例です。

< 保留操作編 >

保留方法

< 通話中保留 >

通話中の通話を保留することができます。

1. 通話中に **CLR** を押す。

相手に保留音が流れます。
保留中に相手が電話を切った場合は、通話が切れます。

2. 電話に出られる状態になったら **CLR** を押す。

元の通話に戻り、再度お話しすることができます。

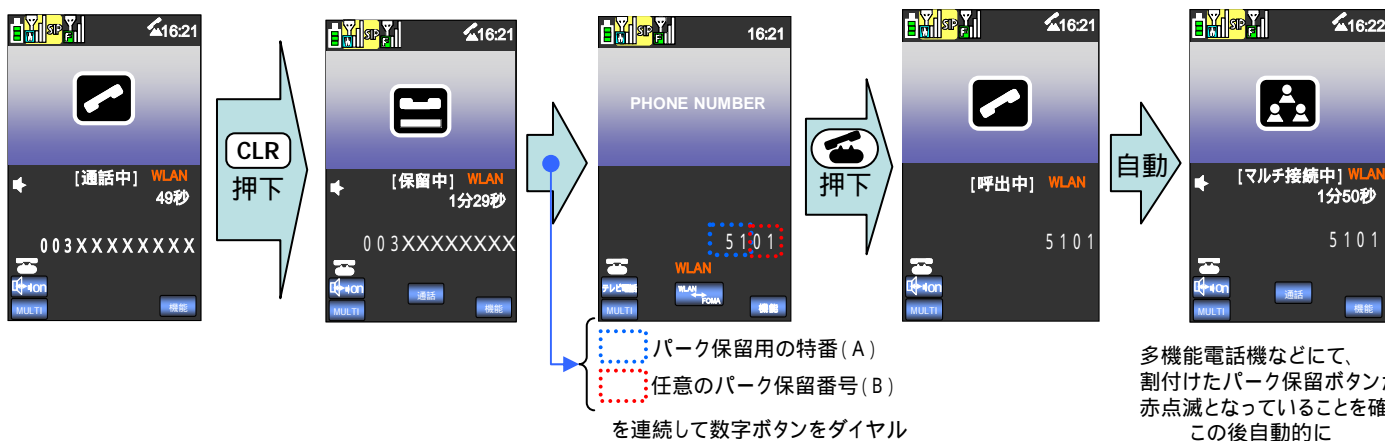


パーク保留を利用して保留する

< パーク保留 >

通話中の通話を保留し、システム内で共有します。

1. 通話中に **CLR** を押す。
2. 「onefone」本体の数字ボタンで **パーク保留用の特番(A) (初期値:51)** + **パーク保留番号(B)** をダイヤルし、**保留ボタン**を押す。



上記は、パーク保留用の特番が「51」のときにパーク保留を行う例です。

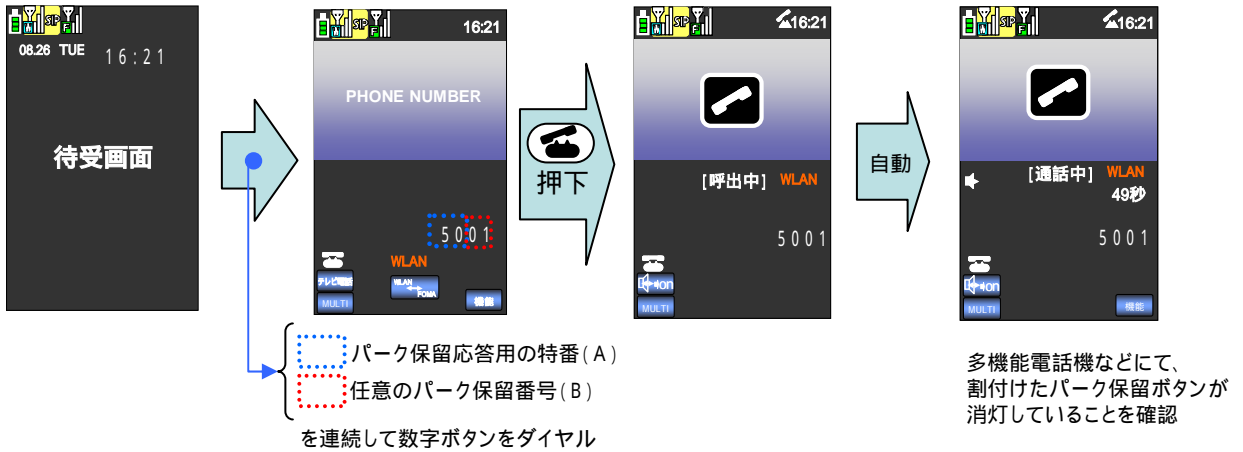
パーク保留用の特番 (A)		パーク保留番号 (B)					
保留時		保留ボタン1	保留ボタン3		保留ボタン5		
解除時		保留ボタン2	保留ボタン4		保留ボタン6		

パーク保留された通話を解除する

< パーク保留応答 >

システム内で共有したパーク保留を解除します。

1. 「onefone」本体の数字ボタンで パーク保留応答用の特番 (A) (初期値:50) + パーク保留番号 (B) をダイヤルし、 を押す。






上記は、パーク保留応答用の特番が「50」のときにパーク保留応答を行う例です。

保留転送方法

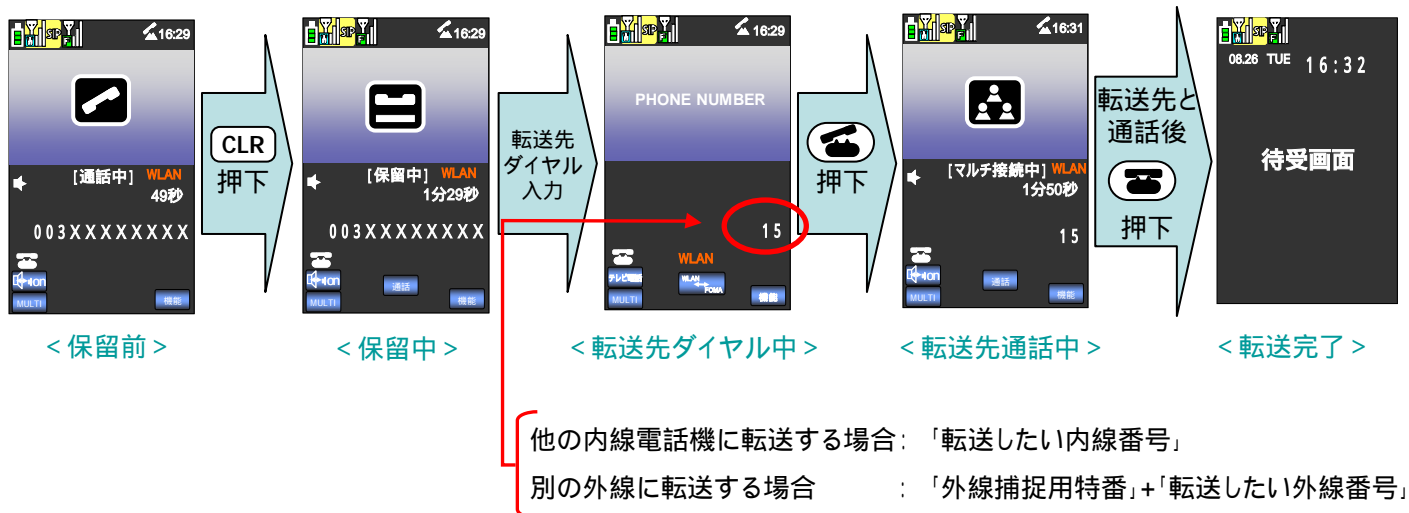
< オンフック転送 (通話中転送) >

通話中の通話を保留し、システム内の電話機 (内線) や他の電話番号に転送することができます。

1. 通話中に  を押す。
2. ディスプレイに **[保留中]** と表示されていることを確認。
3. 「onefone」本体の数字ボタンで、転送したい内線番号、または、「外線捕捉用特番 (初期値:0)」+外線番号をダイヤルし、 を押す。
4. 転送した相手先と通話後、 を押す。 < 転送終了 >

3. の操作は外線特番自動付与機能を利用しない場合です。

相手先が話中または、不在等で保留した通話に戻る場合は、 を押して下さい。



上記は外線との通話を他の内線電話機に転送する例です。

転送先を呼び出したまま転送を行う方法

< 呼出状態転送 >

通話中の通話を保留し、システム内の電話機(内線)や他の電話番号を呼び出したまま、転送することができます。

1. 通話中に **CLR** を押す。
2. ディスプレイに **【保留中】** と表示されていることを確認。
3. 「onefone」本体の数字ボタンで 転送したい内線番号、または、「外線捕捉用特番(初期値:0)」+外線番号をダイヤルし、**☎** を押す。
4. 転送先を呼び出し中に **☎** を押す。 < 転送終了 >

3. の操作は外線特番自動付与機能を利用しない場合です。

相手先が話中、または、不在等でビジートーン聴取となった後、保留した通話に戻る場合は、

CLR を押して下さい。

転送先の方が電話に出ない場合、転送先の呼び出しが継続したままとなってしまいます。

(回線ボタンを持たない電話機では、本操作後に保留していた通話に戻る事ができません。)

転送先の方が電話に応答できることを確認してから、本操作を行ってください。



他の内線電話機に転送する場合: 「転送したい内線番号」
別の外線に転送する場合: 「外線捕捉用特番」+「転送したい外線番号」

上記は外線との通話を他の内線電話機に転送する例です。

「onefone」内線コードレス利用の注意事項

< WLANモードでご利用時の注意事項 >

「onefone」からの発信時、WLANのサービスエリア内においても「110」「118」「119」等の緊急通報番号については、必ずFOMAネットワークへの発信となります。「onefone」にて保留した通話を転送する場合は、ディスプレイ画面の状態を確認して操作して下さい。保留転送時、転送先ダイヤルの後に#をつけても即時発信となりません。**☎**を押して発信してください。WLANモードで利用する場合、「ドライブモード」「非通知着信拒否」「電話帳登録外着信拒否」等の「着信拒否」の設定をしないでご利用下さい。「onefone」で通話中のメニュー操作(「onefone」取扱説明書P426「WLAN音声通話中画面」の一部メニュー)については、対応していません。「onefone」へと通話が転送されたとき、転送先の「onefone」では画面に表示される通話相手の番号は変更されず、転送される前の通話相手の番号のままとなります。動作中(着信・発信・保留・内線通話など)にWLANのサービスエリア外に出た場合、動作中の機能などに支障をきたす場合がございます。WLANのサービスエリア内でご利用願います。

< IP対応ビジネスホンでご利用になる場合の注意事項 >

「onefone」のプレゼンス機能、メッセージ機能はご利用する事ができません。「onefone」から他の内線電話機へ非通知発信はできません。「onefone」では共通保留/共通保留への応答を行うことはできません。「onefone」を内線コードレスとして利用し、WLANサービスエリア外にいるときもFOMAネットワーク経由で着信したい場合は、主装置にて「圏外転送」の設定が必要となります。外線との通話を別の外線に転送する場合は、主装置に別途設定が必要です。「onefone」でパーク保留/パーク応答への応答を行う場合は、主装置にパーク保留の設定を行う必要があります。「onefone」ご利用時、主装置のエコーキャンセラ機能(利用時は別途オプション品が必要です)をご利用になっている場合、ノイズをキャンセルする機能の働きにより、ご利用の環境によっては、通話相手の音声が一瞬ミュートされる場合がございます。エコーキャンセラ機能については、通話相手との通話経路上にアナログ/デジタル変換がある場合は、設定を推奨としていますが、ご要望に応じエコーキャンセラ機能の取り外し工事を行います。各種特番の設定はお客様個別に指定していただき、工事にて設定を変更することが可能です。上記のIP対応ビジネスホンの設定が必要な場合は、お問い合わせいただいた販売担当者にお申し付け下さいますようお願い致します。なお、設定変更及び工事等を行う場合は、別途工事費が必要となります。